

## 聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成24年11月5日  
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

## 私はしばしば仏を忘れるが

## 仏は私を忘れない

金井隆久

人生はお育てであります。これは私の実感です。思えばこの世に生まれた私は、母の言葉によりますと、《まアこの子は声の大きい子でした》ということでした。どんな声の大きいかと言えば、二時間おきにお乳をもらえなかったとき、《わアわア》と泣きじゃくったのでした。つまり、本能まるだしの、欲望のおもむくままに大きな声で暴れていたのです。それが、家族のものに、まねごととなりとも、掌を合わせることを教えられ、門信徒の人たちに囲まれてはげまされて、仏縁の中で呼吸をさせていただく人生を恵まれました。

しかし、そのような者ですが、それこそ、三度の食事は欠かしませんが、二度の朝夕のおつとめは、かなわないという有りさまです。

仏法の話の聞いたり、語りあっているときは、ごもっともという顔をしてうなずいてはいますが、ひとつ場面が違うと、つい本音がでて、相手を平気で傷つけていることがあります。その繰り返しの生きざまを思うと、ほんとうにしぶとい我が身であることが痛いほど感じられます。まさに「私はしばしば仏を忘れる。」と言われるとおりであります。

その私のことを、かたときも忘れられないのが、阿弥陀如来であります。み仏のはたらきを「休憩(くそく)なし」と言われています。つまり、阿弥陀如来が南無阿弥陀仏となりたもうて私のために、昼といわず夜といわず、夏といわず冬といわず、まさに三百六十五日、二十四時間、全く休みなく、はたらきどおしであると言われるのです。

思えば、時間的には過去・現在・未来(三世一貫という)を貫き、空間的には十方(平面だけでは八方である)にわたってはたらきつづけておられるのであります。いいかえれば昨日も、今日も、明日も、どのような所にもはたらきつづけておられるということです。

また、よく、み仏は、いつでも、どこにでも、誰にでもはたらきつづめであると言われるます。その通りであります。そして、いつでもであればこそ、「今」はたらき、どこでもですから「ここ」にはたらき、誰にもですから、「この私に」はたらきつづけてくださっていると、うなずかされることでもあります。

そして、「今」「ここに」「この私に」はたらいてくださるみ仏は、時をえらばず、処をえらばず、地位・名誉をえらばず、生まれた場所をえらばず、すべての生きとし生けるものを忘れることなく、休むことなく、心を配り、包みこんでくださるのであります。 —2005(平成17)年 法語カレンダー より—

# 山口別院参拝・秋穂エビ三昧満喫! 山口市内観光行ってきましたヨー!!



山口別院正面玄関にて  
市内 常栄寺「雪舟庭」

国民宿舎「あおい荘」から瀬戸内を望む  
市内 瑠璃光寺五重塔 菜香亭室内



平成24年度分

報恩講の際ご進納ください。

\* 『お仏飯米』

\* 『門信徒護寺会費』

年間1口 金 3,000円以上

\* 『納骨所維持管理費』

管理費年間 金 3,000円

## 「前坊守十七回忌法要」厳かに終了



多くの有縁の門信徒・関係者の皆様とともにお勤め  
することができました。心よりお礼申し上げます。

## 『初御講』のご案内

昨年の11月から本年10月までの間で

往生された方へ「初御講-特別追悼会」を下記の通りお勤めいたします。過去帳を持参しご参集下さい。精進の御齋もご接待させていただきます。おそろいでお参りください。

◎ 11月18日(日) 午前11時20分集合 11時30分開式

一階納骨所にて

準備の都合により、参加の有無をお知らせください。

# ご 案 内

## 御 正 忌 報 恩 講 法 要

11月	16日(金)	17日(土)	18日(日)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分	午後1時30分
			おとき 12時より

講師 (大分県宇佐市・崇福寺前住職)  
本願寺派布教使 前 田 賢 聖 師

### お寺からのお願いです

#### 「お 磨 き」11月13日(火)

10:00より15:00 まで

報恩講を迎えるにあたり本堂の金仏具を磨き、納骨堂等のお掃除をします **昼食準備** **しています。沢山の方のお手伝い** 男性の方もお待ちしております。

正善寺かすみ草の会お磨きとあわせ開催します。お集まりください。

### 「お 齋 接 待」ご 案 内

#### 正善寺の精進料理を

お召し上がり下さい。

11月18日(日) 正午より

《お齋券》をお持ちください

かすみ草の会の皆さんは 9時集合

### 来 年(25年) の 年 忌 法 要

( )内は来年の対象年次数です。

- ・ 一 周 忌 (平成 24 年往生)
- ・ 三 回 忌 (平成 23 年往生)
- ・ 七 回 忌 (平成 19 年往生)
- ・ 十 三 回 忌 (平成 13 年往生)
- ・ 十 七 回 忌 (平成 9 年往生)
- ・ 二 十 五 回 忌 (平成 2 年往生)
- ・ 三 十 三 回 忌 (昭和 56 年往生)
- ・ 五 十 回 忌 (昭和 39 年往生)

### 小 倉 組 行 事

#### 参 寺 参 り さんてらまいる

昨年に引き続き、小倉組内の28寺で勤められる「報恩講法要」のうち、3ヶ所の寺院を訪ね、聴聞をかさねましょうという企画です。お参りに行かれた各寺院にはお寺シールが準備しています。各自で貼って3箇所となったらその寺院に提出してください。3箇所とはいわずお参りできるだけ訪ねても構いません。どうぞご参加下さい。参加証は各お寺にあります。まずは我がお寺から。お待ちしております。

# 行事ご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

## 第78回 おゆうぎかい

とき 12月8日【土】 9:30より  
ところ 神岳保育園ホール

## じよやのかね 除夜会

12月31日(月) 大晦日

午後11時より 午前1時まで

## 平成25年 修正会

元旦 午前1時より(除夜会終了後)

## 忘年会!!

1年間お世話になりました。今年もたくさんのお出遇いをいただきました。ありがたいことです。年の瀬のひと時を皆さんと共に過ごしたいと存じます。気軽にご参加ください。お待ちしております。盛り上げますよ!!

とき 12月12日(水) 18:00より

ところ いいところ

会費 男性 5,500円 女性 5,000円  
当日集めます。

申し込み 12月10日までにお寺へ申込み

## 次回の法要のご案内

## 春季彼岸法要

【とき】 平成25年 3月19日(火) 昼席・20日(水) 昼席

【講師】 山口市小郡 蓮光寺 本願寺派布教使 岡本達美 師

## 編集後記

11月、小倉の街路樹も秋色に染まり、きれいです。11月に入ると「御正忌報恩講」をむかえる準備に色々慌ただしくなり、気持ちはゆっくりとはいかず過ごしています。思い返すと私が子供の頃、里のお寺は正月明けの一月五日頃より報恩講が勤まっていました。祖母や母が「ゆっくりお正月をすごしてみたいね」と言いながらばたばたとお斎の食器を一つ一つ布から取り出していく作業を傍らで見っていました。報恩講が始まると母は必ず着物を着ていて、今もしょうのうの香を懐かしく想いだします。一月の八日頃は学校の三学期の始まりで、始業式が終わると走って家に帰っていました。報恩講の終わる最後の日の朝は、ご門徒のお手伝いのみなさんと片付けをしてから、みんなでご飯を食べていました。その中にまじえてもらいたくて、無事に報恩講を終えた安堵の中にいるたくさんの人の中に居心地良くいることが楽しみでありました。幼い頃のそういった過去のすべてが今の私に生きて届いているのだと最近思います。「私が仏法に出遇った」と思っていた私の思いは、私が自らの力でそうしたのではなくて、私の知らない無限の過去からのお慈悲の相続が今の私をつくらせてくれていることに気づきます。(たまたま行信を獲ば遠く宿縁を喜べ)「教行信証」総序「南無阿弥陀仏」をととなえている私の口は声は、ずーと過去からの大切な祖先の人々からのいただきものでした。だいにだいにしたい、そして大切に未来の人々に送り届けたい。今、そう思います。浄土真宗門徒としての大切な「御正忌報恩講」心をこめてせいいっぱい勤めさせていただきます。仏様のお話にお心をかたむけられませんか、心よりおまちしています。 称名